



「前期を終えて」

PTA会長 北原 敦志

日頃より、置戸高校PTA活動にご理解とご協力を頂いておりますことに感謝申し上げます。

はじめに、9月6日に発生した北海道胆振東部地震の影響によるライフライン停止により2日間の休校となったことで、生徒の皆さんは大変戸惑ったことと思います。また、保護者の皆さまや校長先生をはじめ職員の皆さまも大変なご苦労をされたこととお察しいたします。

さて、夏休みも終わり、前期課程が慌ただしい中終了いたしました。本校は他校と違い、介護福祉士の国家試験を目指したカリキュラムのため、1年生は戸惑いながらも頑張ってきたと思います。2年生は10月から始まる介護実習に向けた準備、3年生は7週間の介護実習を経て、それぞれの学年で大事な日々を過ごしたことと思います。また、学校行事では入学式、高体連、学校祭などが無事に終了いたしました。中でも、学校祭では少人数ながらも置高生らしいチームワークを発揮した素晴らしいよさこい演舞を観覧させていただき、大変感動いたしました。今後の高校生活も大変なことがあると思います。が、このチームワークで乗り越えてくれるでしょう。

後期課程では、1・2年生は介護実習、3年生は進路決定と1月に行われる国家試験に向けて大忙しになっていくことでしょう。私たち保護者も日々成長する子供たちを心配し、ハラハラしながら静かに見守る状況が続きます。生徒の皆さんは、辛いこともあると思いますが、日々の積み重ねがのちの大きな喜びに繋がると信じ、学校生活を楽しくて欲しいと思います。

来春には、生徒の皆さん、先生方、保護者の皆さまが笑顔で卒業式を迎えられる様、今後ともご指導、ご理解をよろしくお願いいたします。

「期待される学校を目指して」

校長 坂本 浩哉

このたびの北海道胆振東部地震により、被災された方々に謹んでお見舞いを申し上げます。また、被害に遭われた方々が一日でも早く日常の生活に戻ることができず、心をよりお祈り申し上げます。今回の地震では、本校でも学校、博愛寮と停電のため機能がストップし、生徒には大変不憫な思いをさせてしまいましたが、PTA会員皆様の適切な対応により、9月10日より平常の学校生活を送ることができました。ここに改めて心より感謝申し上げます。

さて、3年生は7週間の実習も無事終了し、これからはいよいよ国家試験に向けて一層の努力が求められる時期となりました。また、1・2年生は後期に実習が控えております。3年生の背中を見て、置戸高校の看板を背負い精一杯実習に取り組んでほしいと思っております。

去る6月16日・17日に第68回北海道高等学校PTA連合大会十勝大会が帯広市において開催されました。初日は福島県飯館村長 菅野典雄氏による「おカネの世界」から「いのちの世界」・「こころの世界」へと題しての講演でした。人生、自動ドアではない。自分でドアを開けなければならない。人生、思いやりのラリーの繰り返しであるなど、心の豊かさについて考えさせられました。2日目の分科会では、寮を持つ高校でのPTAについて、同じ遠隔寮を持つ学校のそれぞれの特色に応じた寮の在り方など、実情を知る大変良い機会でした。生徒の将来を考えて長いスパンで成長を見守ることの重要性を改めて感じた大会でした。

これからも生徒各自が目標達成へ向けて着実にステップアップできるように、生徒・保護者・地域・教職員が一体となって、質の高い教育活動が展開できるよう努力して行きたいと思っております。今後とも温かいご支援とご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

★ 輝け置高生 ★

1年生宿泊研修
5月に2泊3日で行われました。ネイパル足寄に宿泊し、様々な活動を通してクラスの交流を深めることができました。

学校祭
高齢者施設や旧置戸駅前（ぼっぼ）でよさこいを披露しました。学年毎に考えたよさこいを一生懸命、踊りきりました。

入学式
4月に新入生を迎えました。新入生は先輩方に色々教えてもらいながら、学校生活や寮生活に慣れてきました。

寮誕生日会
寮の誕生日会が行われました。ウェスタンで焼き肉やお寿司等、沢山美味しいものを食べることができました。

3年生進路出陣式
7月から行われた全道各地での介護実習も無事に終了し、3年生は進路に向けてより意識が高まっています。

成績通知表の見方について 教務部長 佐藤 由香里

本校では前期末と学年末に5段階の評価・評定で成績を出しております。考査の結果だけではなく、授業や実習先での意欲、態度なども総合的に成績に反映されています。成績通知表を通じ学習状況や諸活動、出欠の状況等をお知らせすることで、学校と家庭が協力してお子様の成長を促していけたらと考えております。将来の目標に向け、今後、どのように学習に取り組んでいくべきかをご家庭で話し合うための資料としてご活用ください。

PTA事務局よりお知らせ

平成30年度置戸高校PTA役員			
役職	氏名	備考	
会長	北原 敦志	3年生	
副会長	下谷 弘美	2年生	
	松尾 正春	3年生	
監事・監査	佐々木 里美	2年生	
	岡田 誠	1年生	
学年代表(1年)	青山 岳雄	1年生	
学年代表(2年)	佐々木 里美	2年生	
学年代表(3年)	畑山 朗子	3年生	
	三浦 順	3年生	
顧問	石井 伸二	元会長	
	坂本 浩哉	校長	
事務局長	長尾 勝恵	教頭	
校内理事	沼田 美由紀	教諭	
	大森 涼太	教諭	
会計	杉原 貴彦	事務長	

授業参観

PTA総会

保護者懇談会

(4/28)

学校祭の全校焼き肉

(6/24)

いずれも多数の保護者の皆様にお越しいただきありがとうございました

今後のPTA活動の予定

◎2月：第2回PTA役員会
(19:00～ 置戸高校会議室)
※役員の皆様には追ってお知らせいたします。

「進路実現に向けて」 3年 A.H

私は、生まれ育った町の特別養護老人ホームへの就職を希望しています。そちらには二年生と三年生で計十週間の介護実習をさせて頂きました。また、小さい頃からよく訪れていた施設でもありました。私はお年寄りの方と関わることが好きで、将来は福祉関係の仕事に就きたいと考えていました。就職後は、できるだけ多くの時間、利用者様と関わる機会を作り、信頼関係を築いて利用者様に安心して頂けるような介護を行える人になりたいと思っています。そのために、介護福祉士の資格を取得出来るよう勉強をしっかり行い、自分の目標に向かって努力していきたいと思います。

「介護実習に向けて」 2年 C.N

私は10月15日から3週間行われる介護実習に向けて、クラスメイトと協力しながら頑張っています。今回は「実技」ですが、約1年前には「コミュニケーション」の実習がありました。そのときは利用者様と会話をするだけだったため、事故や怪我に繋がることはありませんでした。ですが、10月から行われる実習では一つの行為が事故や怪我に繋がるため、責任感を持って介護を行わなくてはなりません。ですので、実習までの残り短い期間で安全な技術と安心を与えられるコミュニケーション能力を身につけ、人の命を預かる上での責任感や緊張感を持てるようにしていきたいと思います。

今の私にはまだ足りない部分があります。ですので、3週間の実習期間で介護職員の方々のスムーズで安心・安全な技術や利用者様が安心して笑顔になれるコミュニケーションを観察し、一日一日を無駄にすることなく成長していけるよう頑張りたいと思います。

「努力すること」 1年 M.M

何もわからず置戸高校に入学してから、約6ヶ月が過ぎました。入学したばかりの頃は何もかもが初めてで、寮のルールを覚えるのに苦労したり、知り合いが一人もない場所で上手くやっていけるのかと不安でした。でも、先輩方が丁寧に教えてくれて、今ではすっかり寮生活にも慣れ、友達と楽しく充実した日々を過ごしています。

入学してからすぐ、私はボランティア部に入部しました。私は元々人見知りで、コミュニケーションをとるのがとても苦手でした。でも、ボランティア部に入ったことで地域のお祭りのお手伝いや、子ども園の子ども達と触れ合うことで、沢山の人とコミュニケーションをとり、前よりも少し人見知りを克服することができました。

勉強面では、福祉教科の授業がはじめて聞く言葉ばかりで覚えることも沢山あり、難しいなと感じています。これからは、友達と協力することも大切になってくると思います。宿泊研修や学校祭を通して生まれた絆をより深めて、今後の学校生活もくじけずに頑張っていこうと思います。



寮歓迎会



初めてのよさこい披露

「PTAの声」
「新たな立立ち」
一学年保護者 岡田 誠
春、新しい制服に袖を通して緊張した顔で体育館に入ってきた入学式の姿に涙が出ました。四月、参観日で見た娘の姿は、ちよつぱり大人びて見えました。五月、高体連では先輩方に支えられ頑張っていました。六月、学校祭で見せてくれた娘の笑顔にみんなと仲良く過ごしている姿に、安心しました。
進路決定をする中学3年生の時、置戸高校へ行きたいと言ってきた時は、親元から離れて暮らす娘の不安と夢への希望と共に、親としても、家の中で太陽の様な笑顔を見せてくれる娘が家から離れる寂しさや応援してやらねばという思いでした。今、娘は同じ夢に向かって一緒に頑張っている同級生と、支えて下さる先生方、先を歩いて手本となつて下さる先輩方に支えられ、笑顔で過ごしています。この三年間は、苦しい事も楽しい事もたくさんあると思いますが、笑顔を忘れず感謝を忘れず頑張つてくれることを願っています。

平成30年度PTA研修会 ～オケクラフト工作 箸作り～ 無事終了しました。

去る9月15日(土)、置戸町のどま工房でPTA研修会を実施しました。今回は保護者、生徒、教職員の計17名の方々に参加していただき、オケクラフト工作の箸作りを行いました。講師の方に教えていただきながら、カンナや、やすりで自分好みの箸の形を作り、自分の手の長さに合わせて箸の長さを決め、最後に蜜蝋でコーティングをし、参加者の皆さんは無事にマイ箸を完成させることができました。

細かい作業もあり、難しいところもありましたが、参加者の皆さんは無事に完成したマイ箸で食事を楽しんでいただけたらと思います。お忙しい中ご参加いただいた保護者の皆様、ご指導いただきましたお二人の講師の方々、本当にありがとうございました。



進路実現に向けて 進路指導主事 大概 真美

3年生は、7週間の介護実習を無事終えました。帰校してから就職希望者の多くは、応募書類の送付のための最終確認や、選考に向けた面接試験に対する本格的な準備に取り組んでいます。進学希望者も、入学願書の記入や受験に向けた論文の取り組みに一層精を出すなどしており、帰校後の一分一秒を惜しみながら日々を過ごしています。9月6日の進路出陣式を控え、「いよいよ、この時が来た」と士気が高まっていた矢先、北海道胆振東部地震が早朝に発生し、延期を余儀なくされましたが、3年生の士気の高さはそのままに、一堂に会して10日に執り行うことができました。

校長先生からは、試験に向けて「しっかり挨拶をする」「時間を守ること」の2点について話があり、第一印象の立ち振る舞いと、時間の余裕が心の余裕に繋がり、緊張を強いられる場面においても、今後はこれ以上のことがあると意識すれば、余裕を持ってスキルを最大限発揮できると、助言がありました。また、教務部長の佐藤先生からは、「ここでの高校生活を通じて、気が利く人の集まりになれたところは誇れるところ」として、社会での活躍を期待しているとあった一方、「卒業後は、周りが何とかしてくれる事は無い」と、自分自身に責任を持つという将来への気構えが込められた言葉に、3年生は身の引き締まる思いのする進路出陣式になりました。

経済産業省が提唱した社会人基礎力（職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力）の概念の1つである、「前に踏み出す力（アクション）～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～」の能力要素には「主体性・働きかけ力・実行力」があります。今年度の3年生が、希望とする進路先を決定していくにあたっては、1・2年生の早期から、「物事に進んで取り組む力・人に働きかけ巻き込む力・目的を設定し確実に行動する力」を多くの生徒が体現できていたように思います。～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～とありますとおり、進路決定後も、誰かが何とかしてくれると思わず主体的に、困難にあってもまだまだこれ以上のこともあると乗り越えられる社会人になっていって欲しいと思います。

